

役員会（要旨）

日 時 平成 26 年 7 月 24 日（木）午前 9 時 30 分～11 時 30 分

場 所 学術情報総合センター6F 会議室

構成員 西澤理事長、柏木副理事長、桐山理事、宮野理事、安本理事、石河理事
藤野理事

出席者 田中監事、大嶋副学長、井上副学長

【審議事項】

1 医学部の定員増について

<事項区分>大学事項

<所管理事等>石河理事

<資料説明者>熊田学務課長

<概要>

文部科学省より、地域の医師確保等の観点から、医学部入学定員の増加について要請があった。これに関連して、大阪府の医療対策課とも協議を行い、大阪府としても予算措置が可能であることを確認したところである。本件については、医学部内での議論を経て、今後の申請手続きを進めるべく、今般、役員会で審議いただくこととした。

医学部医学科の増員計画として、入学定員については現行の 92 名から 95 名に増員し、増員期間については 5 年間とすることを記載する予定である。また、定員増に伴い大阪府指定医療枠を現行の 2 名から 5 名に増員することとなる。

<意見内容>

- ・入学定員を増加した場合、実験器具の使用数が増え予算増が伴うことや、実習に影響がないか、十分精査しておくこと。
- ・審議要点を明確にし、課題整理等を行ったうえで今後の手続きを進めること。

<審議結果>

- ・定員増について、本学として受け入れることを承認。

2 大学後援名義の使用について

<事項区分> 大学事項

<所管理事等> 西澤理事長

<資料説明者> 井上副学長

<概要>

クールオオサカまちづくり協議会から、「高野山開創 1200 年記念 こうやくんと御堂筋 88 ラリー」(平成 26 年 10 月 11 日～平成 27 年 5 月 21 日)に対する本学の後援名義の使用承認の申請があった。当イベントは共催の毎日新聞社とともに、地元企業、商店街とも連携し、御堂筋から高野山へと人の流れと賑わいを届けるルートを開き、国内のみでなく、海外からも旅客を呼び込んで、大阪を中心とする関西圏の活性化に繋げようとするものである。

公立大学として大阪の発展への寄与を求められることから、本学として当イベントに対する後援名義使用したいので、承認いただきたい。

<意見内容>

- ・現時点のパンフレット(案)に本学の後援名義を使用させるときには、憲法の政教分離原則に抵触する可能性があるため、この点を慎重に検討する必要がある。

<審議結果>

- ・意見内容を踏まえ、再度検討し、改めて提案すること。

3 電気船の寄附物品受入について

<事項区分> 法人事項・大学事項

<所管理事等> 西澤理事長

<資料説明者> 木下複合先端研究機構長

<概要>

大阪市環境局から譲与される予定の電気船については、産学官連携のもと、民間造船所と本学が共同して研究開発を行ってきた。今後も引き続き、船舶に係るハイブリット研究を加速させることを目的として、今般、寄附物品として受入るものである。

なお、船舶管理については、民間造船所が無償で維持管理を行うことを条件としているため、法人としては係留・維持管理費、廃船費等を一切負担はかかるとはならない。

<意見内容>

- ・廃船費等については多額の費用がかかることが予想されるため、事務的な観点でさらに問題点等の整理が必要である。

- ・本法人と相手方との覚書については、文書精査を行う必要があるのではないか。

<審議結果>

- ・電機船の受入について承認。ただし、覚書の文言を整理のうえ再度提案すること。

4 寄附金の受入について

<事項区分> 法人事項

<所管理事等> 西澤理事長

<資料説明者> 垣谷大学運営本部特命担当部長兼学生支援課長

<概要>

一般市民の方から、障害者学生のために活用頂きたいという寄附金の申出があった。本寄附金についての用途としては、障害学生に対するノートテイクの関連経費に充てる予定。

<審議結果>

- ・原案のとおり承認

【報告事項】

1 学生間にて発生したトラブルについて

<事項区分> 大学事項

<所管理事等> 石河理事

<資料説明者> 熊田学務課長

<概要>

学生間にてトラブルが発生した為、医学部内で調査委員会を立ち上げ、一定の事実関係が確認できたので、状況報告を行う。

<意見内容>

- ・大阪市立大学学生懲戒規程における懲戒の対象となる行為について確認。
- ・懲戒対象となる場合、教育研究評議会で審議することを確認。

2 戦略的研究の採択結果について

<事項区分>大学事項

<所管理事等>宮野理事

<資料説明者>宮野理事

<概要>

平成 26 年度研究推進本部における戦略的研究の採択結果について報告。

3 平成 27 年度職員採用方針による新規採用試験「市大枠」の進捗について

<事項区分>法人事項

<所管理事等>柏木副理事長

<資料説明者>浅井職員課長

<概要>

本法人においては、大阪市からの派遣職員の引き上げに対し、係長級については、民間企業等の経験を有する者をプロパー職員として採用することで対応してきた。また、係員については、新規採用に加え、キャリアスタッフの一部を正規登用化し、業務の安定化を図ってきたところである。

一定、必要職員数の確保について目処がたち、大学職員としての経年も蓄積されたことに鑑み、今年度については、より本学にとってロイヤリティーの高い人材を確保すべく、「市大枠」での募集を実施したため、現時点の進捗状況について、報告を行う。

4 平成 26 年 6 月度月次状況報告について

<事項区分>法人事項

<所管理事等>藤野理事

<資料説明者>藤野理事

<概要>

平成 26 年 6 月度の月次状況の報告。

<意見内容>

・附属病院における、延べ患者数及び一日平均延べ患者数が入院・外来とも昨年度に比べて減少している理由について、診療科別等に調べる必要がある。

【その他事項】

1 教育研究評議会について

- ・7/28（月）教育研究評議会の案件確認を行った。